

都市計画道路黒磯那須北線について



▲動画配信が見られます



たけはら つくお
竹原 亜生

質問 黒磯那須北線周辺地区の構想は

町▶土地利用対策委員会で検討する

問 黒磯那須北線は黒磯と筒地を結ぶ新しい動線となり、活用をはかることが重要な課題だ。周辺地区の町づくり構想は。

答〔企画財政課長〕
これまで直接議題にはあげてはいないが、地区の特性を生かしたまちづくりが重要であり、今後土地利用対策委員会で検討する。

問 人口減少対策などに大きな影響があるのにこれまで検討されていないのは大変遺憾だ。2025年に完成するまで、あと4年しかない。これからどのように検討するのか。

答〔副町長〕
この地区の将来構想において町にとって大切な時期を迎えている。これから土地利用対策委員会で検討し、早急にまとめる。



問 黒磯那須北線を活用した移住促進の取り組みは。

答〔企画財政課長〕
当地区は交通の利便性に優れ、保育園、小学校、大型商業施設があり、地域の特性を活かした定住の拠点となるよう検討を進める。

地域包括支援センターについて

質問 地域包括支援センター増設計画は

町▶高原地区に新たに設置する

問 地域包括支援センター増設計画の内容は。

答〔町長〕
高齢者の増加、多様化する課題に対応するため、高原地区に新たなセンターを設置する。

問 委託事業者は、包括支援事業に実績がある事業者に限定するのか。

答〔保健福祉課長〕
限定しないが、実績のない事業者の応募はないと考えている。

問 施設の準備は受託事業者がしているが、準備できない場合は。

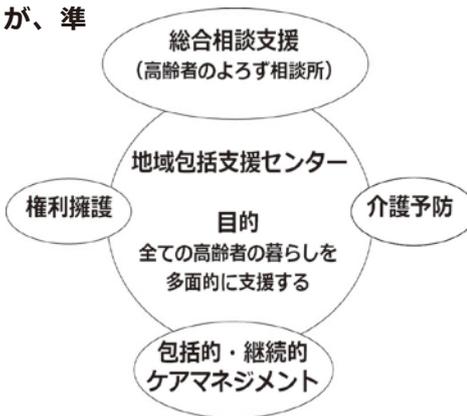
答〔保健福祉課長〕
施設を整えた事業者の応募が原則なので、用意できると考えている。

問 委託事業者が利便性の悪い場所へ設置する可能性は。

答〔副町長〕
仕様書等で示すため、悪い場所に設置する事業者は選定されない。

問 2つのセンターが統一の取れた運営を行うために、基幹型センターを設けるのか。

答〔保健福祉課長〕
保健福祉課が基幹型センターの役割を果たし、総合調整等を行う。



高齢者の困りごとは、「地域包括支援センター」へ。

◇ほかに…「放射性指定廃棄物について」「窓口サービスについて」「消防水利について」の質問もしています。